

# 常任委員会視察報告

## 総務建設産業常任委員会

農業振興の先進地を

視察

視察地 山梨県甲州市

長野県中野市

視察日 10月8日・9日

総務建設産業常任委員会は「農業振興」をテーマとして、農業生産法人



(株)四季菜にてトマト栽培のレクチャーを受ける

(株)四季菜・豊田農産物加工施設利用組合を視察研修してきました。

近年の農業は、農業従事者の高齢化及び兼業化の進行に伴う担い手の減少と、農業生産活動の低下や遊休農地が増加しています。(株)四季菜は、約2haの農地を確保して高



女性の力で町おこし(6次産業による農業推進)

付加価値型農業を実践し、土耕栽培(地中熟ヒートポンプを利用)によるトマト栽培をしています。

中野市は基幹産業である農業を活性化するため、平成16年4月から経済部に「売れる農業推進室」を設置しました。主な事業として、市内農産物・特産物ギフトカタログの作成、学校給食の地域食材活用推進と農業の大切さや安全安心を視野に入れ、食農教育を推進しています。利用組合は「菓子部」「おやき部」「みそ部」の3部門で構成され、会員数は50人で、「おやき部」の具材も、地場産の規格外農産物を有効利用し、平成6年からは、味のふるさとの味の伝承や味の開発を進め、商品開発にも取りくんできています。

## 政務活動報告

### 各会派による

「森林保護と生涯スポーツの共生」  
「老人センターと宅幼老所の運営について」

会派 新政21、伊新の会

視察地 松本市、野沢村

視察日 9月30日

マレットゴルフは、昭和52年、福井市の職員がゲートボールのスティックとボールを使ってゴルフのようなスポーツとして考案した。56年に長野

県体育センター職員もスポーツと考え、マレットゴルフと名付けた。「いつでも」「どこでも」「だれとでも」気軽にプレイできるとして、

町議会では、議員活動の資質向上をねらいとし、各会派で、他の自治体の取り組みを視察調査したり、また、様々な研修を行うなど研鑽に努めています。

高齢者に人気の高いスポーツになり、長野県だけでスポーツ人口が10万人はいるとみられています。

夏の猛暑の中でも涼しい木陰の下で体を動かせるスポーツであるマレットゴルフを視察研修。

次に野沢村の高齢者福祉センターにおいて、「福祉課・社会福祉協議会」との連携や各種福祉サービスについて説明を受けました。そして、通所介護「小規模型」事業、宅

幼老所おら家を視察し、活動理念である、「高齢者、障害者、子供達、そして家族、地域の方々が在宅において共に支えあう拠点」となれるよう活動している説明を受けました。

当町においても、森林の保護と有効活用したスポーツの推進を行っていき



野沢温泉村 宅幼老所にて